

明るく元気に  
あいさつができるまち



会長  
あら い じゅん  
新井 潤さん



## 南平岸第十町内会

平岸4条16丁目(一部) / 43世帯

隣近所がちょうどいい具合に気にかける、こじんまりとアットホームな町内会です。この間も我が家が数日留守にしたから、「新井さんとそろいつも開くカーテンが開かないけど何かあったんじゃない？」なんて近所で気にしてくれた(笑)。こういうのが煩わしいって人もいるけれど、家族以外が気にかけてくれるって、いまの時代ありがたいことじゃないかなあ。

うちの町内会は、別のマンション町内会が真ん中にあることで、二つある班が離れたかたちになっているんです。だから清掃活動や親睦会でできるだけ顔が合うように心がけているよ。毎年9月の「焼肉パーティ」は喜んでくれる人が多い行事。焼肉パーティなのに、豚汁あり、イカ焼きあり、焼きそばあり。極めつけはおしるこまで。役員たちは準備から相当力入っています(笑)。子どもも大人も賑やかに飲んだり喋ったり。来ない人がいると、「忘れてるんじゃない？」って心配して呼びに行く。互いを気遣える町内会の良さでしょう。いまは町内会活動に参加できない30代、40代も、「何やってるんだろう」と私たちのようすが気になって、そのうち「こんにちは」って顔を出してくれるのを願っているんです。

自分は京都出身で、奥さんの地元・南平岸に来た当初は知り合いがまったくなくてね。そのうち子どもが生まれて、近所の同じくらいの子をもつ同世代の親と仲良くなっていった。いまはすっかり札幌人。近所に飛び込めたことが、こうして町内会活動につながっていますね。

町内会に入らなくていい時代困らないかもしれないけれど、住んでる場所に言葉を交わす人もいないなんて、それじゃ寂しくないかな？ あいさつしたってそっぽ向く人ばかりなら、まち自体が冷たくなる。町内会って義務ではないし、肩肘はってまでするものでもない。だけど何かあれば助け合うって、どんな人にもあるしそんな良心だと思うよ。損得とつばらって付き合えるやさしい仲間がいるのが町内会だからね。

住みよいまちをめぐす町内会



会長  
たけ べ なお こ  
竹部 直子さん



## 平岸南ヶ丘町内会

平岸4条14丁目~18丁目(一部) / 150世帯

令和元年から町内会長を引き受けて活動しています。私は町内会のエリアにある社会福祉法人草の実会の職員でもあるんです。草の実平岸の里は平成12年に南ヶ丘でスタートし、地域の一員として町内会との連携と交流を積み重ねてきました。20年を経過したいま、町内のみなさんにはあつて当たり前前の施設になってきたと感じます。

うちは役員決めでは毎年困るのですが、「手伝って」って声をかければ、班長はじめみんなが一所懸命に関わる町内会なんです。気持ちよく協力し合えます。転入者に町内会加入を呼びかけると、みなさんわりあい入ってくれます。班長なら受けてくれますが、役員はね…(笑)

令和元年に、札幌市から「ます花壇優良制作者表彰」を受けました。毎年平岸高台小の児童と住民とで花植えをしますが、その後は役員さんたちが心を込め面倒を見ている。そのおかげで花は見事で、心が潤いますよ。行事としては「南ヶ丘・草の実夏祭り」が盛大です。500~600人が参加しますよ。草の実会との共催で15年ほど続いています。わたあめやヨーヨー釣りなど、子ども大喜びの手づくりのお祭りで、花火大会もすこいですよ。ほかにもラジオ体操や役員会など草の実会の施設・敷地を使わせてもらっています。町内で集まる場所があるのは、助かりますよね。地域団体が協力しあい、互いにいいことが生まれていますよ。

いま外であそぶ子どもは少なく、隣りにどんな人が住んでいるのかもわかりづらい世の中でしょう。でもいざつとときに隣近所を誰も知らなかったら、生命を守れないと思うんです。そういう意味では町内会って、生命を守るための一つのしくみですよ。人との関係を深めることまではできなくなつて、せめて人と人とのつながりを切らないために町内会は必要。人間助け合って生きていかなきゃ、住みやすい社会にならないものね。

安心して暮らせる住みよい  
マンション町内会



会長  
あだち ひでこ  
安達 ひで子さん



## GSハイム平岸町内会

平岸4条17丁目1-1 / 100世帯

顔を見かけたら「こんにちは」ってあいさつして、「どう、元気?」、「これ食べない?」なんて楽に言葉を交わせる人が身近にいるのはいいものだよ。うちは築40年近いマンション町内会で、入居する世帯の100パーセントが町内会加入。ふだん何気なくお互いあいさつできるのは、きっと毎年のように町内会で「春を楽しむ会」、「秋を楽しむ会」などの親睦会を続けてきたからだね。行事でちょっとずつ打ち解けて、お互いの顔を知ってこられたのがよかったんだと思います。やっぱり安心して笑顔で生活できるって基本だよ。うちの町内会の素敵ところは、みんな仲がいいところなの。

マンションに集会室があるから、集まる場所には不便しないの。集まる場所があるのはだいじね。ここを使って私たち定期的に「お茶会」をしているの。気軽にあそびに来て! って声かけて。おじいさんや、おばあさん、困っていたり悩みがあったりする人が、ちょこつとおいしいものを囲んで、わいわい会話すれば気分転換になるでしょう。そういうのがイヤだって人もいるかもしれないけれど……(笑)、たいいてい人はさりげなく気にかけてもらえることって嬉しいんじゃないのかな?

私が町内会活動を始めたのも、隣近所の見守りしているのも、きっかけは人からの声かけがあったからだけど、もともとが人好きなのね(笑)。自分のできることで相手が喜んでくれるのを見るのが好きなんだよね。これは昔っからです。今日もおこわをつくって15人くらいに配ってきちゃった。無理してするのではなくて、自分の得意なことて人が嬉しくなってくれるなら、こつちも楽しいでしょう。私が町内会をやっている一番の理由ってこれなんだよね。

町内会って、誰に対しても平等な場所だからいいと私は思っているの。それで大人も子どもも対等に笑顔で暮らすってことが一番なのよ。そのためにも町内会は誰にとっても楽しくて、嬉しくなれる活動を続けなくちゃね。

何ごとも「さわやかに」



会長  
まつもと まさし  
松本 正志さん



## メゾンドルチェ平岸第3町内会

平岸4条18丁目1-50 / 118世帯

うちは出入口が12もあるマンションの町内会だね。出入口がそんなにあると、会わない人にはぜんぜん会わないってことがあつてね。いまは表札や郵便受けの名前を出さない人も増えているでしょう? そうなると何という名前の人か、どんな人が暮らしているか、わからないまま同じところに暮らしていることになる。マンションが建つて30数年が経ち、居住者の高齢化とともに若い世代への入れ替わりもだんだんと増えてきたからこそ、普段のコミュニケーションがたいせつになっていると感じるよ。まずは朝夕顔を合わせたときのあいさつをだいじにしたいなあって思っているんです。

中央広場で毎夏行う夕食会や、町内会新年会は、参加者が多く賑やかに盛り上がるだいじな行事。たくさん来てもらいたくて、町内会だよりを充実させ声かけもするよ。親睦が目的だけれど、ある種の防犯機能・見守り機能にもなる活動って思っています。お互いの顔を知り、気にかけるきっかけになるよね。たとえばマンションの敷地に見かけない人がいても、「おや?」つと気づくことにもなるしさ。

このころは女性部の活動が活発化して、町内を活気づけてくれていますね。マンション内の集会所に集まって、勉強会だったり、麻雀やカラオケなど趣味の会だったり、さまざまな企画をしています。植樹ますへの花植え「花いっぱい運動」も毎年女性中心に協力者が出てきて、平岸高台小の子どもたちと道路を彩るの。男は隣近所の付き合いの場になかなか出たがらないけれど、女の人は概して積極的に仲良くなる力があるのは不思議だな(笑)。町内会に女性の力は欠かせないね。

班長は輪番制で、年に4~5回集まってもらっています。役員メンバーはことあることに協力して集まっている。我々役員の後継者が見つからないのがいま一番の悩みだね。新しく班長になった人たちに活動を楽しんでもらいながら、少しずつ担当をバトンタッチしてゆきたいなと思っているんだ。